

山の日情報

(第10号)

平成28年10月24日

秋田県生活環境部
自然保護課

【活動記録】

10月2日(日)に森吉山登山道の木道補修を行いました。

森吉山登山道(阿仁ゴンドラ停車駅から阿仁避難小屋間)は、今から10年ほど前に整備され、歩きやすい登山道として多くの観光客に利用されてきましたが、現在は経年劣化による破損が散見され、補修が必要となっていました。

北秋田市では、この木道補修に当たり、ボランティアの協力を得て実施する計画を立て、秋田県で実施している山の日制定を記念して実施している「山の日記念事業」とタイアップして行われました。

当日は、眩しいほどの好天に恵まれ、色づき始めた山並みを背景に、森吉山岳会、鷹巣山岳会の皆さんを始め総勢17名により作業を行いました。

今回の木道補修の中間点に当たる石森(1,308m)に、木材50枚が既にヘリコプターで荷揚げされており、その板達が我々を出迎えてくれました。長さ2m、厚さ7cmほどの板を破損が著しい場所まで、手分けして木材の運搬を行いました。当初は手前の破損箇所から木材を置くため、それほど苦にはならなかったのですが、2枚目、3枚目と回数をこなしていくうちに、その距離も伸び、思った以上の重労働となりました。その後、実際に板を釘で固定する作業を行いましたが、元の木道の腐食が進んでいる箇所では、新しい板を固定することができず、新たに枕木が必要となったため、急遽、森吉避難小屋に残置されている丸太材を運び、ほどよい大きさに切り分け、それを敷き、その上に木道を設置するなど、知恵を出し合いながらの作業となりました。

一連の作業を終えて下山しましたが、途中の石森付近からは、周囲の山々や遠くは日本海を望むこともできました。また樹氷の基となるアオモリトドマツには、たくさんの松ぼっくりが実り、秋の訪れを感じさせてくれました。

今回の事業にご参加いただいた皆様には、ご協力をいただいたことに対しまして厚くお礼を申し上げます。



(参加者の感想)

天気にも恵まれた10月2日、森吉山登山道の木道整備に参加させていただきました。ゴンドラ下車後、黄、赤、オレンジに色づき始めた山並みや遠くの鳥海山、太平山を眺めながら石森まで向かった私たち一行を、水をたっぷり含んだ木道の板を運ぶという重労働が待ち受けていました。1人1枚肩に担ぎ、湿原から阿仁避難小屋まで真顔無言で板を運びました。午前中たっぷり汗をかき、昼食休憩の後は、古くなった板を外し、高さ等調整後、新しい板を設置し釘を打つ作業を行いました。

北秋田市商工観光課職員や、日頃山でお世話になっている地元各山岳会のみなさんと会話しながら行う作業はとても楽しく、また先輩達の作業の手際の良さ、登山客の安全への配慮など大変勉強になりました。なにより励みになったのは、登山客の皆さんの「お疲れ様」「ありがとう」という言葉でした。

参加の皆様、大変お疲れ様でした。(ふるさとあに観光案内人の会 大川美紀 様)

